

NEWS RELEASE

各 位

2005年7月20日

アルツハイマー型認知症治療薬「T-817MA」の 米国での臨床第Ⅰ相試験開始のお知らせ

富山化学工業株式会社（社長：中野克彦）は、自社開発のアルツハイマー型認知症治療薬「T-817MA」の臨床第Ⅰ相試験を、本年7月より米国で開始しましたのでお知らせします。

アルツハイマー型認知症治療薬の現状

アルツハイマー型認知症の推定患者数は、米国で250万人、欧州で150万人、日本で70万人とされ、2010年代半ばには、その患者数は1.5倍に増加すると予測されています。現在、アルツハイマー型認知症の治療薬としては、アセチルコリンエステラーゼ阻害薬などが上市されています。しかし、これらの治療薬は、神経の賦活作用による症状改善作用を示しますが、アルツハイマー型認知症の病態の進行を抑制することは難しいとされています。

「T-817MA」の開発コンセプトと特徴

開発コンセプト アルツハイマー型認知症の進行を抑制する薬剤

特 徴

- ・ 神経細胞死の抑制効果
- ・ 神経突起促進効果
- ・ 病態モデルでの効果

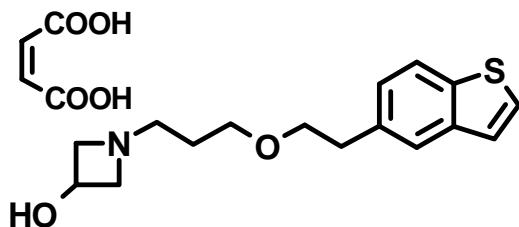
「T-817MA」を用いて行ったラットでの試験では、アミロイド-βを脳室内に注入して、神経細胞にダメージを与え認知機能障害になったラットに対し、本剤を2.5週間投与した結果、健康なラットと同程度の機能を維持し、進行抑制効果が確認されました。

また、別の試験では、アミロイド-βを8週間注入し、より重度の障害を持ったラットに対して、本剤を投与したところ、4週間の投与で認知機能が健康なラットと同程度にまで回復し、その後、1週間休薬した後も薬剤の効果が持続したことから、機能回復効果が確認されました。

これらの試験結果は、2003年、2004年の北米神経化学会で発表をしています。

「T-817MA」の化学構造式と化学名

化学構造式



化学名 1-{3-[2-(1-benzothiophen-5-yl)ethoxy]propyl}-3-azetidinol maleate

「T-817MA」は、高齢化社会の進展に伴う認知症患者の急速な増加に対し、その病態の進行を抑制し、症状を改善する革新的な治療薬としての可能性を持っています。

尚、今後の計画としては、引き続き米国で、臨床第Ⅳ相試験を2006年第4四半期に開始する予定にしています。

以上

本件に関するお問い合わせは下記にお願い致します

富山化学工業株式会社 経営企画部広報グループ

T E L 03-5381-3818

本件は、兜俱楽部、重工研究会、本町記者会、富山経済記者俱楽部へ資料配布しています。